

御前崎港(マリーナ)の有効利用について

問 御前崎港のマリーナは、施設の不足、不備が利活用の妨げとなっていると思われるので、マリーナを海洋活動で利用する人が不便、不快感なく利用できる最低限の施設(水洗トイレ・温水シャワー・更衣室・研究室・棧橋等)を整備する計画はありますか

答 マリーナの管理運営は、第三セクターの御前崎埠頭㈱が行っており、現在、管理事務所、簡易温水シャワー施設、トイレを各1棟設置し、管理人1名を午前8時から午後5時まで常駐させています。開業時のマリーナの収容隻数は、200隻とする覚書が御前崎港管理事務所と管内漁業協同組合との間で締結されており、この覚書に基づき係留場所は、既存の浮き桟橋係留50隻、岸壁係留100隻、陸上保管50隻となっております。研修室や更衣室、温水シャワーの増設などについては、今後マリーナの利用状況を勘案しながら

ら計画していく予定と伺っています。御前崎市といたしましても、このマリーナが海洋レジャーの拠点として発展するよう、今後とも県や関係機関に計画的な整備を働きかけてまいります。

問 マリーナ施設を活用して、海洋スポーツを通しての青少年健全育成、またヨットレース、大会等の誘致による社会教育・観光面からの御前崎地区の活性化について何らかの具体的な施策をお考えでしょうか

答 本年度は、市内の小・中学生を対象にヨット教室や海の日記念セーリング大会、手づくりカヌーなど、マリンスポーツの体験学習の場として活用されております。今後は、当地区への「総合型地域スポーツクラブ」の設立を目指し、静岡県海洋スポーツのメッカとして、また全国へ海洋スポーツ情報を発信し、観光面の誘客施設としても活用できるように県や関係機関の協力を得て、ハード・ソフトの両面に亘って整備充実を図ってまいりたいと考えております。

災害発生時の危機管理

問 人命への医療救護対策は

答 地域内の医療救護を行う為、医師会の全面的な協力を得て医療チームを編成し、御前崎保健センター・浜岡健康センター・第一小学校・浜岡東小学校・浜岡北小学校の5ヶ所に設置される救護所に派遣します。

問 医師会との打ち合わせ状況は

答 御前崎総合病院長も小笠原医師会の幹事でもあり、市長自らも2カ月に一度の頻度で医師会と打ち合わせを行っております。今後も密な連携をとっていききたいと思っております。

少子化の危機管理

問 子育て支援の環境が整わ

なければ子供が産めないが、保育園の入所希望者への対策は

答 国の入所基準に該当して保育園に入所できない乳幼児はいませんが、一時保育を充実させて在宅乳幼児の保育サービスを拡充を推進します。また入所定員の弾力的運用として4月には15%、10月以降は25%を越えて入所に対応しています。市内の保育士の有資格者リストを作成中ですので、保育士の補充についてはスムーズな対応ができます。

問 核家族化や少子化を解消するために一層の配慮を

答 市民の皆様からいろいろなご意見をうかがっております。今後より一層の弾力的に運用できるよう見直しをしていきますのでご理解ください。